

# 29年度 オール渡島「学力向上アクションプラン」 北斗市立大野中学校

	平成29年度全国学力・学習状況調査を踏まえた取組	平成30年度全国学力・学習状況調査に向けた取組	改善・方策	授業力向上	家庭学習改善	学級経営力向上	小中連携
	・低学力層生徒への重点指導(習熟度に応じて) ・4月実施の全国学力・学習状況調査やC R Tで検証する。※低学力層生徒=C R Tの総合評定が1・2や全国学力学習状況調査では下位25%未満の生徒 目標値:下位25%未満の生徒国語20%未満:数学25%未満 ・チャレンジテスト(学期末・サポート) 目標正答率80%以上		・チャレンジテストの繰り返し学習(目標値80%) ・サポート問題の実施(4月,8月,1月) ・朝読書・朝学習(週2回とテスト前2週間)の徹底 ・学習サポートの実施(放課後、長期休業)	・H29調査問題の課題への取組 ・校内研修の充実 ・学習過程の再確認 ・数学科レディネス問題の効果的な実施 ・宿題改善 ・年間指導計画の改善と作成 ・I C Tを活用した授業改善	・家庭学習強調週間の設置(大野地区)お知らせ配布(6/27~7/3,9/28~10/5,2/21~2/27:中学校の定期テストと合わせて ・「大野地区『学力向上』こどもビジョン」の更新 ・毎月、第1・第3日曜日を「ノーゲームデイ」として設定、生徒・保護者に呼びかけ	教室環境の点検、改善 ・落ち着いた学習に取り組めるように整備 ・学習の見通しを立てたり、振り返ったりできる学習環境 ・言語環境の整備の観点からの表現の適切さや文字の正確さなどにも留意 学級活動などにおける話し合いの充実	・家庭学習強調週間の設置(大野地区統一) ➡中学校の定期テストと合わせて ・低学力層児童の情報共有 ・大野地区各校統一された学習規律等の作成・掲示 ・キャリア教育の充実 ・学習参観日の公開 ・授業交流週間の案内配信
4	(チ)前年度サポート問題の実施(国・数4/5配信) ➡研 ・C R Tの実施(1・2年のみ) ➡教	・全国学力・学習状況調査の自己採点・分析 ➡教 ・C R Tの結果分析と改善策の明示 ➡教	・年間指導計画にチャレンジテストの活用を位置付ける ➡教 ・各教科年間シラバスの提示 ➡教・各教科	・学習規律、ノート指導、宿題の確立 ➡教・学年 ・実物投影機を活用した授業の改善 ➡研 ・全授業で年間を通して、「学習課題」と「まとめ」のカードを利用し授業に明確に位置づける。 ➡研 ・習熟の程度に応じた指導の担当者会議①(4/11) ➡教・数学科	・家庭学習の点検・再確立 ➡教 ・家庭学習ノートの毎日の提出・点検(年間を通し目標90%) ➡点検は全教員で	・校区内各校統一された学習規律等の実施 ➡小中連携 ・校内環境や掲示物の整頓(適時性・適用性) ➡教	・全国学力・学習状況調査の自己採点による経年変化分析 ➡校長 ・出身小学校への中学校からの学力テストの結果の持参・説明 ➡校長 ・大野地区地域連携協議会総会(4/26)
5		・アクションプランの改善 ➡校長	・自己採点后、分析ツールを用いて結果分析 ➡教 課委				・第1回大野地区小中連携教育推進会議(計画立案)①(5/22) 大野地区小・中学校における「家庭学習の手引き」の内容についての確認と共通指導事項の決定と連携を図った指導の充実
6	(チ)1学期末問題の実施(国・数・理・社6/28配信) ➡研(道〆切8/4)	(チ)1学期末問題の実施と分析平成30年度に向けた取組 ➡研	(チ)1学期末問題の複数回実施 ・正答率80% ・達成まで繰り返す (チ)夏休み版の配布・指導 ➡研	・学習規律、ノート指導、宿題の点検・改善 ➡教・学年	・家庭学習強調週間の実施と記録(学習時間) ➡教頭・教・学年 ・家庭へのお知らせ ➡教頭	・学級経営の点検と改善 ➡学年	・大野地区小中連携家庭学習強調週間の実施①(6/27~7/3)
7	(チ)夏休み版(国・数:7/5) ・配布及び指導 ➡研		(チ)1学期末版の繰り返し学習 ・正答率80% ・達成まで繰り返す (チ)夏休み版の配布・指導 ➡研 夏季休業中の学習サポート計画 ➡教	・数学科におけるレディネス問題の効果的な実施 ➡数学科 ・学習規律、ノート指導、宿題の点検・改善 ➡教・学年	・家庭学習強調週間の学習時間の分析 ➡教頭・教・学年	・校区内各校統一された学習規律等の実施 ➡小中連携 ・学期末授業評価・自己評価の実施 ➡研	・中学校授業参観日(7/14)の公開 ・大野地区地域連携協議会②(7/12) ・小中連携合同研修会開催(7/27於:大野中)
8	(チ)1学期末版 ・課題の明確化 (チ)夏休み版の指導 (チ)1学期サポート問題 ・実施と分析 (国算数:8/16配信) ➡研		・夏季休業中の学習サポート ➡教・外部人材	(チ)1学期末版からの課題への取組 ・学習過程の再確認 ➡研	・個に応じた家庭学習の実施 ➡教 (チ)夏休み版の取組 ➡研	・教室環境の点検、改善(適時性・適用性) ➡教 ・学習習慣・学習規律の再徹底 ➡教	・中学生による小学生への夏休みの学習サポート手伝い ➡ボランティアサークル
9	・全国学力調査結果後、取組の修正と確認 ➡教課委	・学校改善プランの見直し ➡教課委		・全国学力・学習状況調査結果を受けた取組の修正と確認 ➡教課委 ・習熟の程度に応じた指導の担当者会議②(9/20) ➡数学科	・家庭学習強調週間の実施と記録及び生活リズムチェック(3リズムの実態把握) ➡教頭・教・学年		・大野地区小中連携家庭学習強調週間の実施②(9/28~10/5) ・小中連携授業交流による「見せる」取組(〜11月) ➡連携委
10				・学習規律、ノート指導、宿題の点検・改善 ➡教・学年 ・タブレットを含むI C T機器を活用した授業改善 ➡研			・授業交流週間(10/23~10/27)の公開 ➡教 ・部活動体験期間の設定 ➡保体 ・第2回大野地区小中連携教育推進会議(進捗状況の確認)10/30
11	・全国学力調査問題再度実施(中3上旬) ➡教課委 (チ)2学期末問題の実施と分析 (国・数・理・社:11/29配信) ➡研(道〆切1/5)					・授業研究の内容を授業改善に生かす ➡研 ・学級経営の点検と改善 ➡学年	・中学校校内授業研(11/8予定)への参加
12	(チ)冬休み版の配布及び指導(国・数:12/6) ➡研		(チ)2学期末問題の繰り返し学習 ➡研 ・正答率80% ・達成まで繰り返す (チ)冬休み版の指導 ・冬季休業中の学習サポート ➡教			・「アセス」の実施と分析 ➡研 ・学期末授業評価・自己評価の実施 ➡研	・中学生による長期休業中の小学生への学習サポート手伝い ➡ボランティアサークル ・大野地区地域連携協議会③(12/6)・新入生体験入学(授業体験)12/8 ➡教・指・保
1	(チ)2学期サポート問題の実施と分析 (国・数:1/17配信) ➡研 (チ)学年末問題の実施と分析(3年) (国・数・理・社:1/24配信) ➡研(道〆切3/9)	・見直しされた学校改善プランの取組実施 ➡教課委	(チ)冬休み版の指導 (チ)2学期サポート問題の繰り返し学習 ➡研 ・正答率80% ・達成まで繰り返す ・冬季休業中の学習サポート ➡教・外部人材	・年間指導計画の改善と作成 ・課題となる領域の明確化 ・実質的な時数の確保 ・学習内容の定着を図る時間の確保 ・指導計画の評価 ・改善の視点の明確化 ➡以上教 ・習熟の程度に応じた指導	・個に応じた家庭学習の実施 ➡教 (チ)冬休み版の取組 ➡研	・教室環境の点検、改善(適時性・適用性) ➡教	・小中連携乗り入れ授業(出前授業)の実施(〜2月) ➡連携委
2	(チ)学年末問題の実施と分析(1・2年国・数・理・社:2/7配信) ➡研(道〆切3/9)	・全国学力調査過去問の複数回実施と解説・指導(中2)① ➡教課委	(チ)学年末問題の繰り返し学習 ➡研 ・正答率80% ・達成まで繰り返す	・学習規律、ノート指導、宿題の点検・改善 ➡教・学年 ・タブレットを含むI C T機器を活用した授業の改善 ➡研	・家庭学習強調週間の実施と記録及び生活リズムチェック(3リズム実態把握) ➡教頭・教・学年	・学級経営の点検と改善 ➡学年	・大野地区小中連携家庭学習強調週間の実施③(2/21~2/27) ・第3回大野地区小中連携教育推進会議(成果と課題の洗い出し、次年度に向けての計画策定)2/26 ・大野地区地域連携協議会④(2/28)
3	(チ)春休み版(国・数:2/21) ・配布及び指導 ➡研	・全国学力調査過去問の実施と解説・指導(中2)② ➡教課委	(チ)春休み版の指導 ・各教科年間シラバスの見直し・改善(4月当初に各家庭へ配布) ➡教・各教科		・春休みの課題(過去問等) ➡教・各教科	・児童生徒の上学年への確かな引継 ➡学年	・新入生の引継 ➡新1年団 ・新入学記念春休みの宿題(「新入生がんばりプリント」)配布 ➡教